（様式２）

専修コース申請書（新規・変更）

専修コース名【内科認定医・総合内科専門医・腎臓内科専門医・透析専門医養成コース】

・募集されるコース毎に記入して下さい。
・貴施設の専修コース全体のスケジュールを表示する表や模式図を添付して下さい。

１．診療科（専門領域）
内科一般
腎臓内科

２．コースの概要
総合内科プログラム（2 年間）及び腎臓内科専門プログラム（3 年間）

３．取得資格
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医

４．長期目標
前半の 2 年間で内科一般の知識・技術を幅広く修得する。後半の 3 年間で腎臓分野における専門性も加えた内科医師となる。
日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医を取得する事を目標とすると共に希望があれば日本内科学会総合内科専門医・指導医（現時点では学会依頼）、日本腎臓学会指導医、日本透析医学会指導医を取得する。

５．取得手技
糸球体腎炎等々の原発性腎疾患、糖尿病や膠原病や高血圧等々からの続発性腎疾患の診断・治療。
急性腎障害 AKI（慢性腎臓病 CKD の急性増悪も含む）や CKD 原疾患の鑑別診断・治療。
血液透析や血液濾過透析や血漿交換等々の血液浄化療法の種類・方法・適応の理解修得。

６．期間
5 年間

７．募集人数
3 名

８．診療科（または関連診療分野）の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度（〇年度）

主要疾患	入院数（年間）	経験目標症例数（　〇　年間）

手術	件数（年間）	経験目標件数（　〇　年間）

９．診療科の指導体制

診療科医師数　常勤３名、非常勤０名

専修の指導にあたる医師　３名

主として専修指導にあたる医師の氏名　守尾　一昭

〃　診療科経験年数　33　年

１０．コンセプト

当院腎臓内科医師は日本内科学会認定内科医・日本内科学会総合内科専門医・指導医（現時点では学会依頼）、日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医であるので、腎（泌尿器疾患も含めて）疾患全般の病態を修得しながら、糖尿病（糖尿病性腎症）や高血圧（腎硬化症）などの併発症の病態も理解し、腎臓専門医（透析専門医も含む）にとどまらず内科専門医まで幅広く対応できるように診断及び治療計画を立てられる事を目標とし、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医（現時点では学会依頼）、日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医の取得を目指す。

１１．共通領域研修について

・月１回内科勉強会に参加

・週１回透析カンファレンスに参加

・週１回泌尿器科カンファレンスに参加